

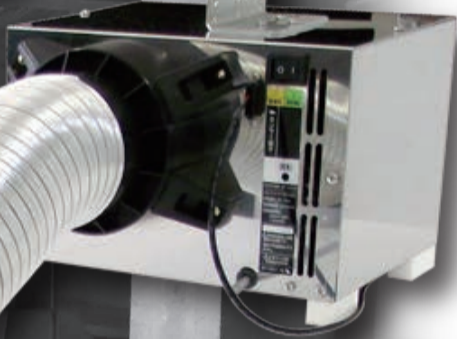
# SEIHO HEADLINE

## 基礎パッキン工法床下の湿気対策。

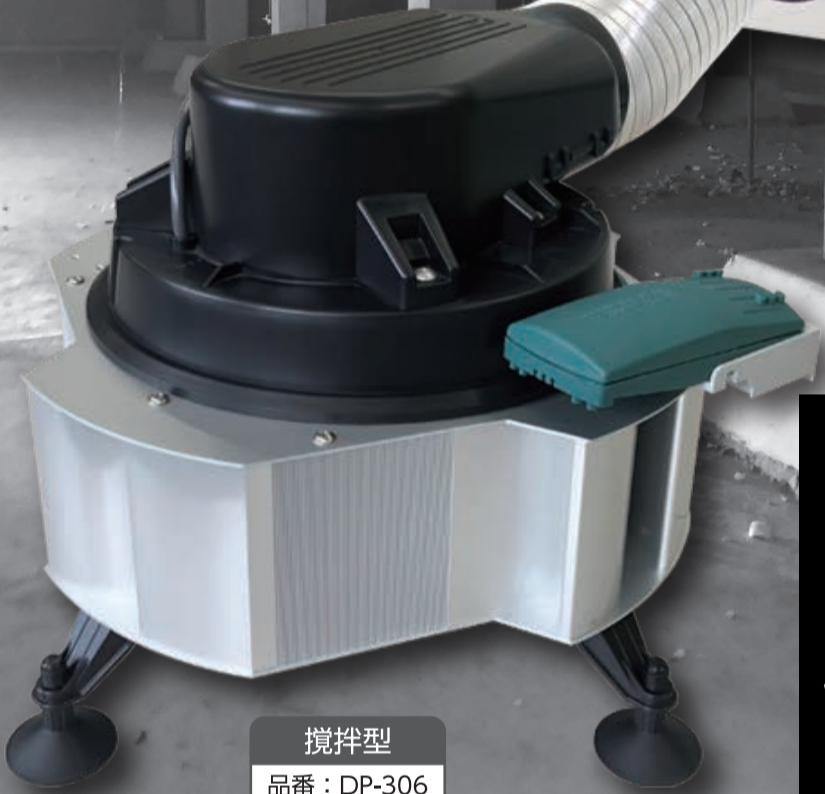
即効性・確実性に優れる床下除湿ユニット、  
ドライプロTYPE・C 発売開始



電子除湿機  
品番：DP-800



基礎パッキン工法対応用



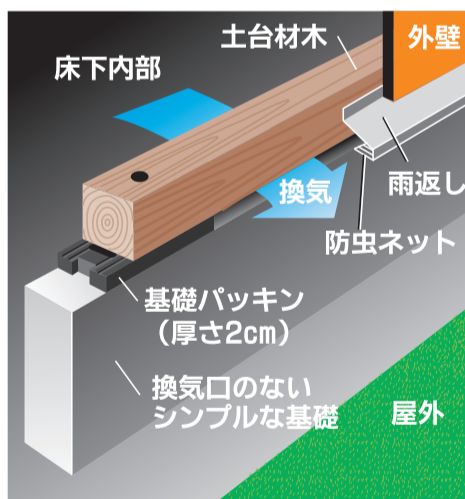
攪拌型  
品番：DP-306

大風量タイプの大型  
シロッコファンを採用。



大風量の風が4方向に  
吹き出します。

基礎パッキンとは



住宅の基礎と土台の間に約20mmのパッキンを挟み込み、外壁のほぼ全周から床下を換気する基礎パッキン工法。従来の換気口型に比べ耐震強度が優れ、約1.5倍の通風面積があるとされる工法で、雨返しのカバーや防虫ネットが換気口の全周囲を覆った仕様が一般的です。

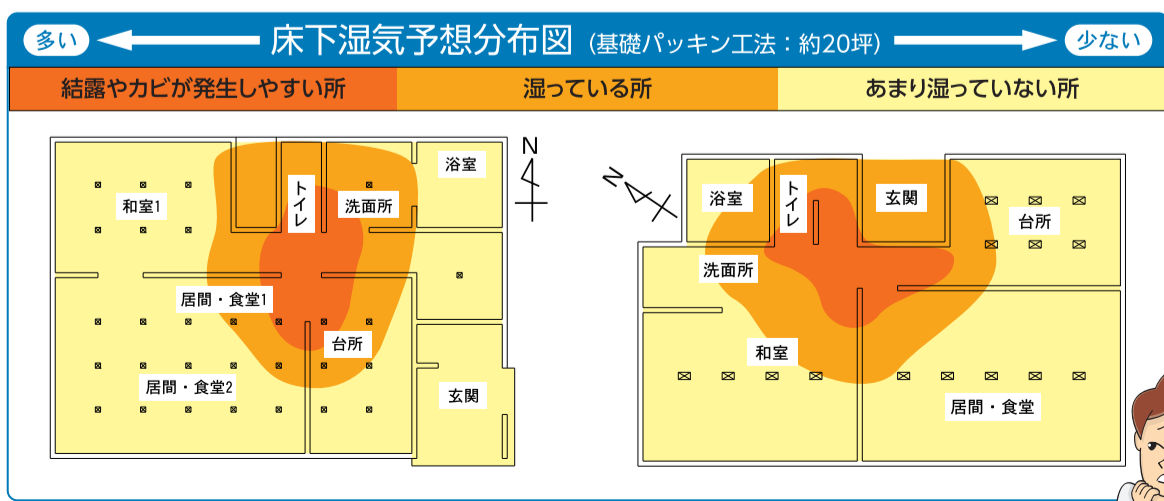
### 基礎パッキン床下の湿気問題

現代住宅の床下基礎はトータル的に換気開口面積が広い「基礎パッキン工法」の採用が主体となっています。「基礎パッキン工法」は床下の隅にも通気性を確保することができる優れた工法です。

しかし実際は住宅が密集していたり、建物周囲に塀や植栽があったり、さらに耐震構造強化のために中基礎が複雑に入っていたりと、自然換気だけでは床下の空気が動きにくい状況にあります。



特に床下の中央部は結露・水たまり・カビなどのトラブルになりかねない状態が予想され注意が必要です。



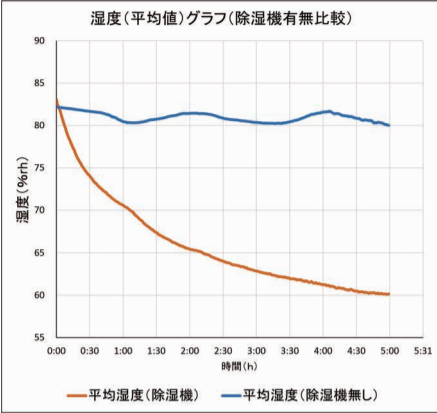
# 基礎パッキン工法対策モデルへの展開

弊社では、2019年より「基礎断熱工法床下」の湿気対策として、床下を強制的に除湿しカビや腐朽の問題を解決する「床下用電子除湿ユニット・ドライプロ」を発売していますが、同時に基礎パッキン工法床下への活用も検討をすすめていました。今回ラインナップに追加されたTYPE-Cモデルは送風機形状を吹き出し四方方向の攪拌型とし、静圧を低くすることで、外気の取り入れを抑え効果的に床下内を除湿することができます。

## 基礎パッキン工法の効果検証データ

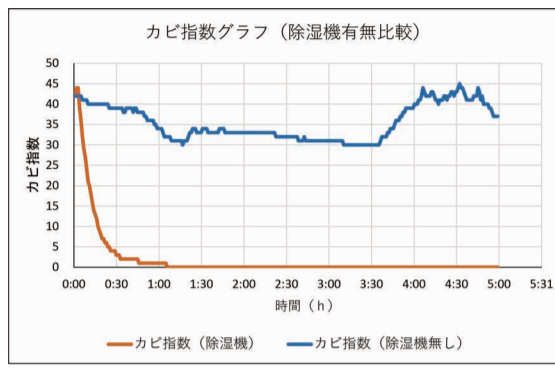
### 【湿度比較データ】(※E)

除湿運転を行う事で乾燥した床下状態を確認。



### 【カビ指数比較データ】(※E)(※F)

除湿運転を行う事でカビの汚染するリスクが極めて低い環境を確認。

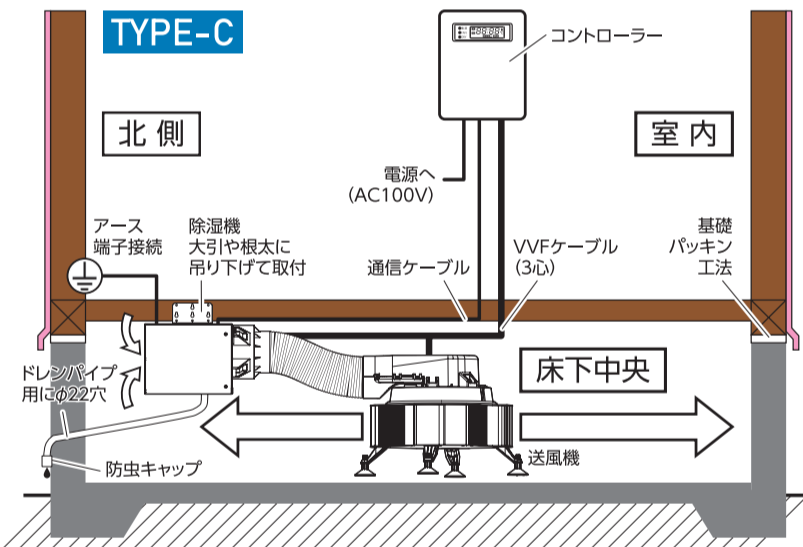


### ◎実験方法(※E)

当社床下シミュレーションスタジオ(約10坪)の基礎パッキン工法において湿度が高く、換気不足を想定した条件(測定前に加湿処理等)で攪拌型除湿送風機の有無での実験データ(※F)「カビ指数」とはカビの発生しやすさを予測する指標で0~200で表され、環境生物研究所長 農学博士 阿部恵子氏により提唱された指標。カビ指数値「20~50」はおおよそ4ヵ月から1年以内にカビの汚染が始まる環境の目安。



## コンパクトな除湿機で簡単施工

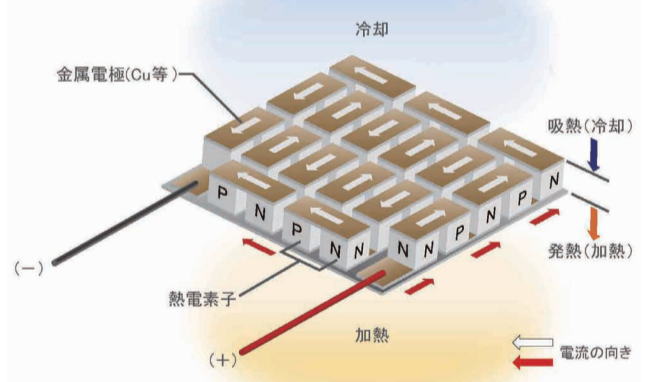


- ・送風機はフレキシブルアルミダクトで自由に向きは決められます。
- ・除湿水は長期において故障の心配のないポンプレス自然勾配排水

※ドレンパイプは一般家庭エアコン用のドレンホース(DHQ-14)と共通品  
※床下に水滴などで水が溜まっている場合は、雑巾やスポンジ等できれいに拭き取ってください。

床下は湿気や埃の多い場所です。これまでも除湿機を利用して床下を乾燥させようとする試みはありましたが、故障やトラブルが多く発生し販売店が対応に苦心されていました。水漏れが発生し床下内が水浸しになるという本末転倒な事例も報告されていました。ドライプロはそのような事例も踏まえた上で、湿気や埃の多い床下でもトラブルなく安心して使用できるよう、ペルチェ式冷却機と専用の攪拌送風機を組み合わせ、トラブルが発生しにくい設計、構造になっています。

高性能電子冷却技術  
温暖化ガスを用いないフロンレス



# 湿気や埃に強いペルチェ式冷却機を採用

# 専用コントローラーで完全自動運転

ドライプロは専用設計されたコントローラーで完全自動運転いたします。また、安全性にも優れた、様々なトラブルも素早く検知し制御します。



## 表示・操作部名称

LED表示  
電源:緑  
FAN:赤  
DRY:黄

「リセット」ボタン  
設定時間の初期化及び動作不良時に使用

「時計」ボタン  
現在時刻及び入/切時刻設定時に使用。また、温度設定時に使用

「セット」ボタン  
入/切時刻設定時使用。また、エラー解除時に使用

「分」ボタン  
現在時刻及び入/切時刻設定時に使用。また、温度設定時に使用

「設定」ボタン  
タイマーの入/切時刻設定時に使用

「時計」ボタン  
現在時刻設定時に使用

「運転モード」ボタン  
運転モードの切替時に使用

「除湿モード設定」ボタン  
タイマー時間内で除湿機の入/切設定時に使用

液晶表示部

電源切

タイマー停止

解除長押し

タイマー/温度

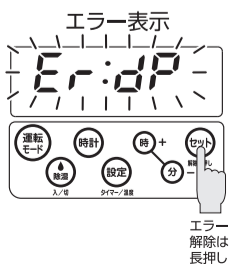
## 初期設定(工場からの出荷時の設定です)

時計の設定	時刻は設定されています。
モードの設定	停止モードに設定されます。
タイマーと低温制御温度の設定	タイマー設定時間「9:00~17:00」、設定温度「14℃」に設定されます。
除湿運転の設定	除湿運転「ON」に設定されます。
点検表示・動作	「ON」に設定されます。経過年数0.0年

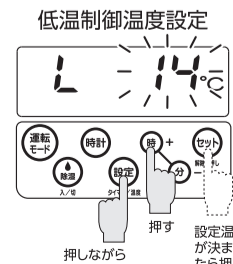
コントローラー  
品番:DC-330

## ②ドレンパイプ排水異常検知・制御

除湿排水用のパイプが詰まって床下や機器内に除湿水があふれ出ないように排水状態を監視しています。異常を検知した場合は自動で運転を停止、コントローラーにエラー表示でお知らせします。



①低温時除湿運転自動OFF(初期設定14℃以下)  
冬季における低温の乾燥した時期は自動運転開始時に低温温度を検知し、除湿機運転を停止します。送風機のみ運転を行い床下の通風乾燥及び湿気激み防止を行います。



③コントローラー通信異常検知・制御

通信ケーブルが接続不良や断線によってコントローラーと除湿機が通信不通になった場合は自動で運転を停止、コントローラーにエラー表示でお知らせします。

④送風機動作異常検知・制御

除湿機専用の送風機が送風しない又は異常停止している場合、異常を検知し自動で除湿運転を停止、コントローラーにエラー表示でお知らせします。

⑤除湿フィン異常検知・制御

タイマー運転開始時、ペルチエ式冷却ユニットの冷却側除湿フィンが低温にならず除湿不能になった場合、異常を検知し自動で除湿運転を停止、コントローラーにエラー表示でお知らせします。

⑥除湿フィン乾燥自動運転（カビ防止）

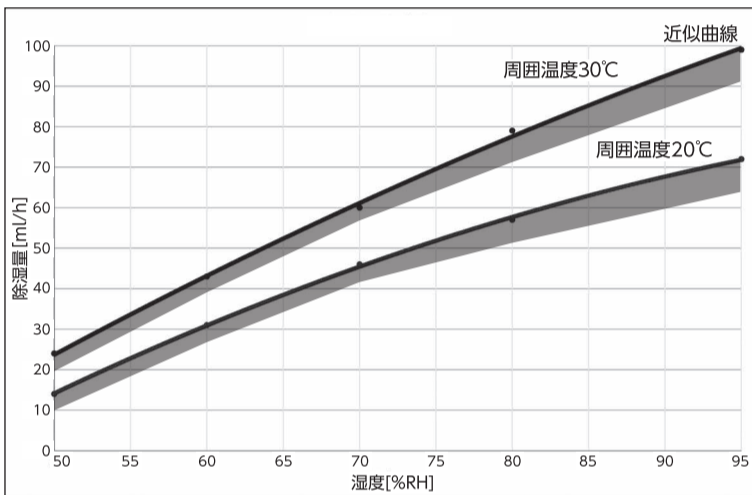
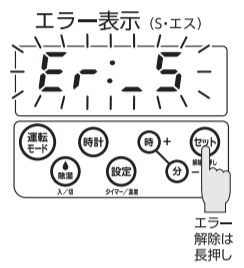
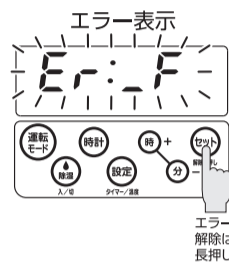
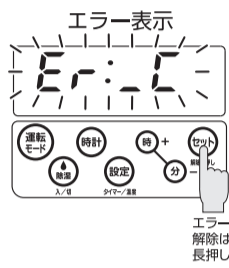
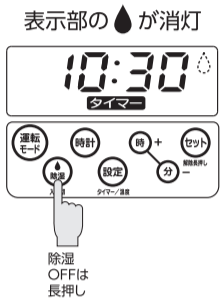
除湿機の除湿フィンに水滴が付いたまままで運転を停止するとカビが発生しやすいため、除湿運転終了後送風のみ運転（1時間）を行い除湿フィンを乾燥させます。

⑦放熱用フィン異常温度プロテクタ内蔵

冷却ユニットの放熱側が異常高温になった場合に冷却ユニットの電源を停止させ、正常に戻ったときに自動で復帰します。

⑧送風機単独運転

除湿送風により床下内が十分に乾燥した状態を維持するようになった場合は除湿ボタンをONに設定すればコントローラー運転時に送風機のみが動作し、床下の湿気凝み防止を行います。



●除湿性能  
(通常運転)公称値

除湿運転は『通常(強)』と『弱』の切り替えが可能



- ・新築時の基礎コンクリート余剰水分の多い2~3年経過後は『弱』運転に切り替えて、省エネ運転が可能。
- ・電気代は1年間の月平均で約1,235円/月(※A)  
(弱運転時は約770円/月)

(※A)1日8時間運転、30日間、送風機+除湿機運転、1kwh=27円(12月~3月末までの4ヶ月を床下温度14℃以下とし除湿機のみ停止し送風運転をした場合)

●除湿運転は湿気の改善状況により、強弱の切り替え(手動)が可能です

電子除湿機	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力 (a)	235 [W] (通常), 130 [W] (弱運転)
	除湿能力	1800 [ml/day] (通常), 672 [ml/day] (弱運転) (※B)
	除湿風量	132 [m³/h]
	騒音	50/48 [dB]
TYPE-C (基礎パッキン工法対応)	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力 (b)	26/30 [W]
送風機 (攪拌型) セット品番 DP-800-SCC	騒音	46/43 [dB]
	質量	約 3.8 [kg]

(※B) 周囲温度30℃/80%RH時の公称値  
※基礎断熱工法対応TYPE-Dの定格・性能についてはカタログをご参照ください

■定格・性能

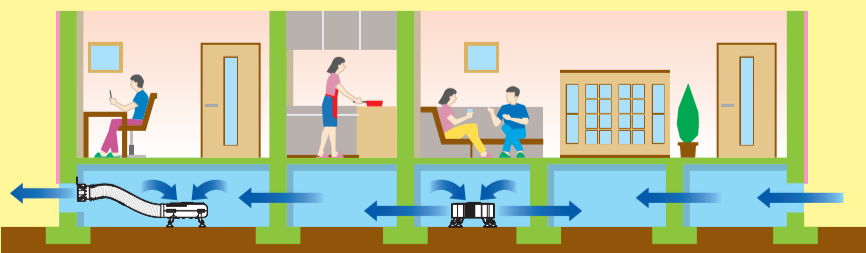


●フィトンチッドカートリッジ標準装備  
ドライプロはお試し版フィトンチッド(植物精油)カートリッジを標準装備しています。フィトンチッドとは樹木が自分を守るために発散させる天然の抗菌成分です。その芳香には悪臭を消す中和消臭作用やカビや虫を寄せつけない抗菌・防虫作用などがあるといわれます。フィトンチッドの効果に関する詳細は、SEIHO-WEBより社内実験データ等を参照

床下換気と床下除湿の違いについて

床下換気 [自然な環境に近づけ床下を改善]

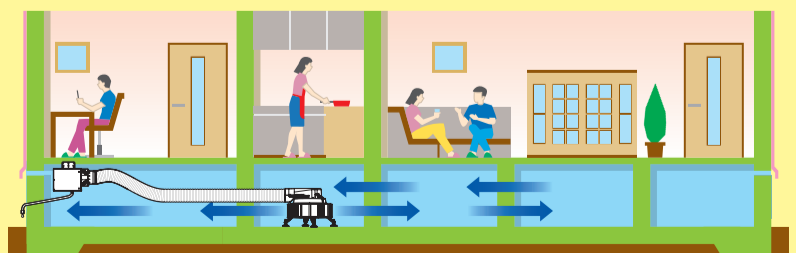
床下を風通しの良い自然な環境にし、木材の耐久性を高めます。また攪拌・拡散型による動風効果でカビや腐朽菌の繁殖を抑えます。雨季などの時期によっては床下に湿度の高い空気を取り入れることになり一時的に湿度、木部含水率が高くなる場合もありますが、一年を通じると確実に床下木部の含水率を低下させます。



※ただしハイブリッドコントローラーを使用している場合は水蒸気量をセンサーで感知し換気動作させますので、雨季など外気の湿度が高い時期も床下に湿気を取り込みにくくなります。

床下除湿 [季節に左右されず素早く床下を改善]

機械的に除湿された空気を床下に攪拌させることで確実に床下の湿度を下げ、木材やコンクリートの含水率を低減させカビや腐朽菌の繁殖を抑えます。床下換気と比較して時期(梅雨時など)に左右されにくく即効性に優れます。



※密封された空間や空気の動きが無い淀んだ空間(局所)に対し、除湿します。